

総看護師長 就任



中部協同病院 総看護師長
玉城 和美 (タマキ カズミ)

中部協同病院の機関誌「かわら版」をご愛読の皆様、こんにちは。定年を迎えられた砂川淳子総看護師長の後任となる玉城です。私は1989年に沖繩協同病院の内科病棟へ入職し1995年に小児科・産婦人科病棟へ異動後、助産学科への進学を機に一旦退職、免許を取得し1997年に再就職。新沖繩協同病院へ移転後に病棟師長へ就任しました。2015年に協同にじくりニツクへ異動、統廃合で混乱の中、翌年10月に旧美里の中部協同病院へ異動となり、知花の5階病棟・現6階病棟の師長を担ってききました。

急性期病院から診療所、亜急性期病院と経験しましたが、その都度新しい経験・学びがありました。部署のスタッフにも恵まれ、「人生で1度あるかな」の病院移転を3度経験し、クリニックの統廃合という困難も(途中離脱となりましたが)乗り越える事が出来ました。

今回『総看護師長』という病院の看護部全体を総括する立場に若干不安ではありますが、今回も周りがフォローしてくれると信じ、自分なりに頑張っていきたいと考えています。どうか、暖かい目で見守って頂けると幸いです。

6F 師長就任

6階地域包括ケア病棟師長に就任しました。金城茂夫と申します。今までは病棟主任という立場で勤務してきました。病棟看護師長になり、不安はありますが、病棟スタッフと力を合せ患者様が安心して療養生活が送れるように頑張つて参ります。

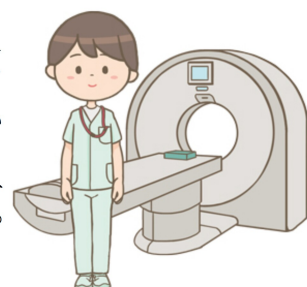
地域包括ケア病棟とは、急性期治療を経過し、病状が安定した患者さんに対して在宅や介護施設への復帰支援に向けた治療や支援を行う病棟です。地域の患者様やご家族に「頼られる存在」になれるように頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。



中部協同病院 6F病棟 師長
金城 茂夫 (キンジョウ シゲオ)

新病院1年を振り返って

放射線室



新病院へ移転後、建物が新しくなり検査の流れがスムーズになりました。受付の配置を工夫したことで検査室との連携が可能となり、待ち時間の削減にも繋がっています。

また、胃透視も昨年に比べ件数の枠を増やしたこともあり、約1.5倍に増加しています。

4月5月はコロナの影響もあつて減少していましたが、それ以外の方は本格的にMRIが稼働したことで、整形外科の単位数の増加、脳ドックの開始などで件数を大幅に伸ば

放射線室室長 玉城 真規
一杯努めて参ります。



中部地域訪問看護ステーション 開設のお知らせ

こんにちは
訪問看護です！

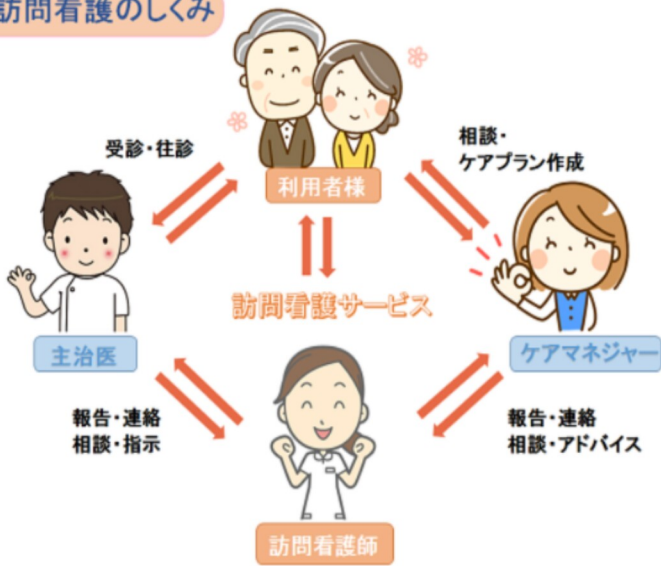


中部地域のみなさまこんにちは。沖縄医療生協本部 在宅ケア・訪問看護推進室よりお知らせです！

2021年1月中部協同病院7階に「訪問看護ステーションなないろ」を開設することになりました。現在、沖縄医療生協では「訪問看護ステーションにじ」において訪問看護サービスを提供していますが、中部地域では初めての開設となります。その前に、訪問看護についてご存じのない方もいらっしゃるかと思いますので訪問看護についてご紹介します。

訪問看護とは主治医の指示を受け看護師等がお宅に訪問して療養生活を送っている方の病気や障がいに応じた看護を行うことです。内容は病状や健康状態の観察、身体の清拭、入浴介助、排泄介助、服薬管理その他など、主治医の

訪問看護のしくみ



指示を受け病院と同じような医療処置も行います。また、病院の看護とは違い訪問するのは1週間に数回で、1回1時間から2時間くらいですが、ご利用される方やそのご家族の意思・生活を尊重し、住み慣れた場所で安心して生活できるよう専門職の視点から質の高いケアを提供し在宅療養を支えます。

訪問看護ご利用にあたってお困りのことがございましたら、今後問い合わせ窓口を開設致しますのでお気軽にお問い合わせください。

本部在宅ケア・
訪問看護推進室長
大城真千子

お手紙ポスト



コロナウィルス感染予防のため、病棟入院患者様へのお見舞いが自由にできなくなってから、長い時間が経ちました。その間、入院患者様が心細い思いをしているのはもちろんのこと、ご家族様もご心配をされていることだと思います。

そこで、今回、中部協同病院では、ご家族様と患者様とをつなぐ試みとして、「お手紙ポスト」を設置する運びとなりました。お互いを「手紙」でつなぐお手伝いをさせていただきたいと思います。患者様への励ましの言葉やご家族様やお孫さんの近況報告、ご親戚やご近所さんの話題など、さらには写真なども一緒に同封してみてもいかがでしょうか。

12月1日より正面玄関にポストを設置し詳細を貼り出します。

たくさんの「お手紙」お待ちしております。

リハビリ室 作業療法士 桃原 喜史

